

議員質問への対応調書

整理番号

060904

令和6年9月定例会	会派名	新生		担当部	経済観光部
	議員名	加藤 茂樹		担当課	観光・ジオパーク推進課
質問・答弁月日	9月18日				
質問形態	代表	関連	(各個)		追及
質問事項	宿泊税に関連して				
<p>【質問要旨】</p> <p>観光客の滞在環境の向上などへの投資を用途とする宿泊税を導入することは、本市への誘客促進を進めるうえで、有利な財源確保になると考える。今後、本市における宿泊税導入の考えがあるのか伺う。</p>					
<p>【答弁要旨】</p> <p>宿泊税は、地方自治体の観光振興施策の財源として用途を限定できる法定外目的税にあたり、財源確保に向けた一つの手段である一方、宿泊事業者の合意形成の難しさや適用する宿泊者の範囲、用途の明確化など、導入にあたっての課題も多いと思われます。本市にはホテルや温泉付きの旅館、ゲストハウスなど、様々なタイプの宿泊施設もあり、宿泊税の導入については、こうした宿泊事業者の皆さんのニーズなどを踏まえながら、慎重に検討すべきものと考えています。</p>					
【対応方針・進捗状況】		対応済			
<p>■対応方針</p> <p>宿泊税の導入に関して地元宿泊事業者のニーズの有無を確認したうえで、慎重に判断していきます。</p>					
<p>■進捗状況</p> <p>市内宿泊事業者からの意見集約（令和7年2月終了）では、宿泊施設のタイプに関わらず、「鳥取は宿泊費が高いイメージを持たれる」や「宿泊需要が目に見えて増えてない中、税制導入による顧客離れにつながる」など宿泊税導入に反対する意見が多数を占める結果となりました。これら地元事業者の意見を踏まえると、現時点での宿泊税の導入は適切ではないと判断いたします。</p>					
更新日：令和7年3月6日					